

The Project of Newton's Apple

教育政策室

足立区委員会 墨田区委員会
千代田区委員会 練馬区委員会

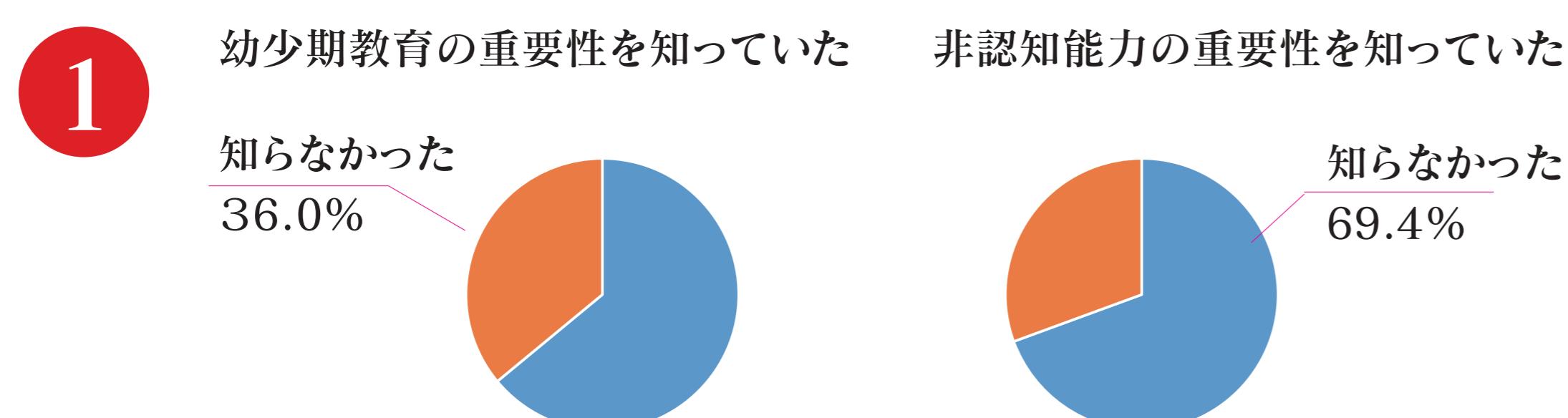
未来の事は誰にも分からぬ。
しかし未来が誰に委ねられているのかは分かる。

2045年、AIは人を超えると言われています。
そして仮想空間と現実空間が高度にリンクするSociety5.0。
圧倒的な速度で技術革新が起こり、まだまだ先と感じていた未来がすぐ
近くまでやってきます。そんな予測不能な時代を生きなければいけない子ども達に我々は何をしてあげられるのでしょうか？
ニュートンは木からリンゴが落ちるを見て「万有引力の法則」を見つ
けたと言われています。リンゴが落ちるというキッカケから、ニュート
ンは偉大な法則を見つけたのです。
それなら我々がすべきことは子ども達の前にリンゴを落とすこと。
考える機会・発想する機会を出来るだけ多く提供する必要があるのです。
きっと子ども達はそのリンゴの中から新たな力を發揮してくれるはず。
しかし現在の社会状況の中で子ども達にリンゴを落としてあげられている
でしょうか？
とある学校の校長は「今の子ども達は学校と家庭という小さな世界で生き
ている。」と話していました。
小さな世界では多くのリンゴを落としてあげる事は出来ません。
それなら子ども達にもっと広い世界を見せてあげたい。
君の可能性は無限なのだと示してあげたい。

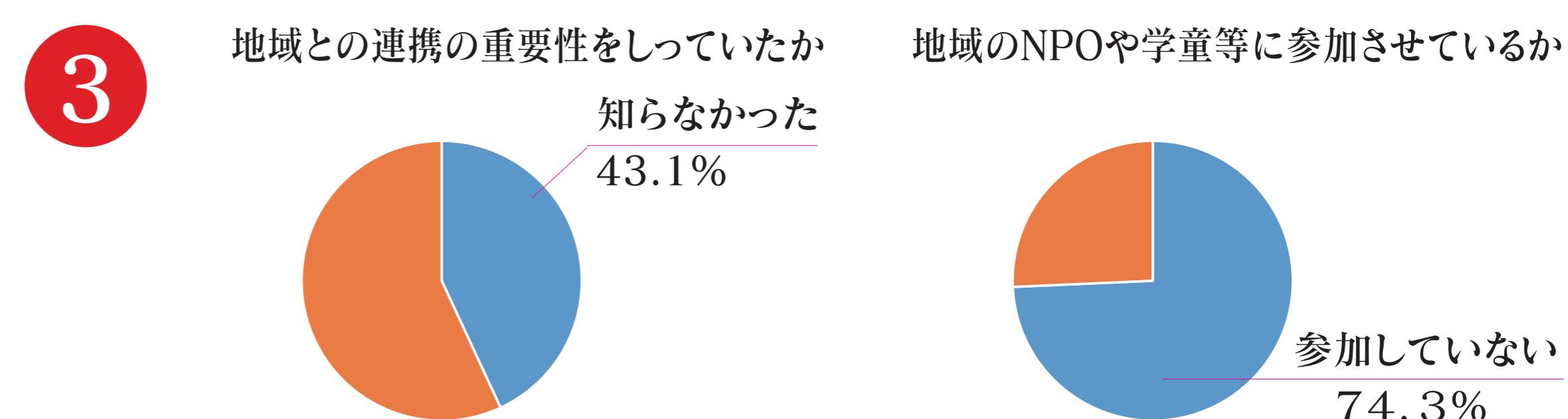
そんな想いからニュートンのリンゴプロジェクトは始まりました。



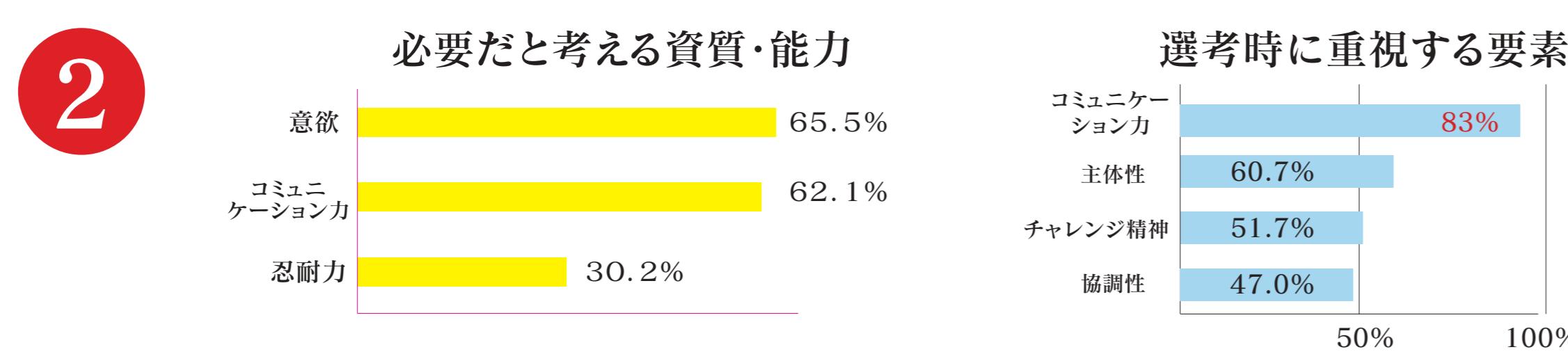
分析結果



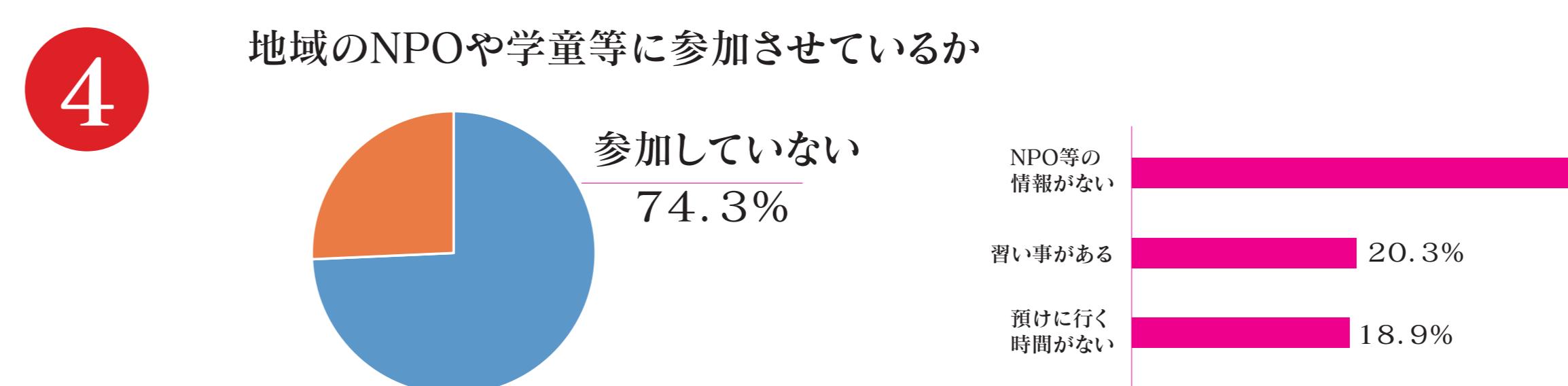
幼少期教育の重要性を知っていたと回答したのは64%となり、半数以上がその重要性を理解
していた。しかし非認知能力の重要性への回答を見てみると69.4%が、非認知能力の重要性
を知らないと回答しており、非認知能力の認知度は低いという結果となった。



地域との連携の重要性を知っていたと回答したのは56.9%となり、半数以上がその重要性を理
解していた。しかし地域やNPOの参加率の回答を見てみると74.3%が、子供を参加させていないと
回答しており、重要性は理解しているが参加させていないという結果となった。

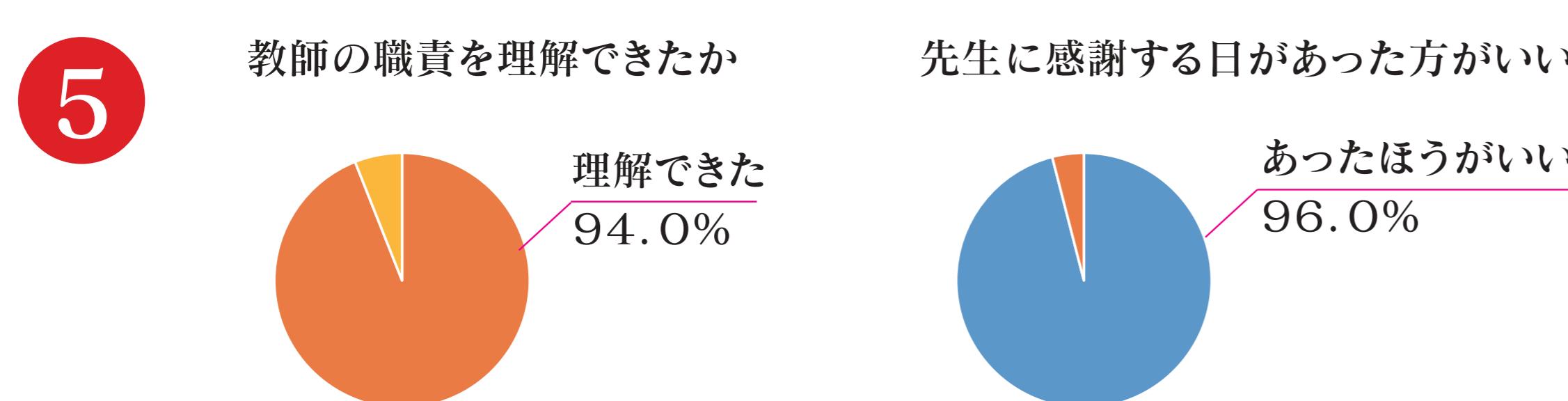


これからの時代に必要だと考える資質・能力についてが意欲・コミュニケーション力が60%以
上の回答者に選ばれ、それに次いで忍耐力が多く選ばれました。その結果と一般社団法人日本
経済団体連合会が2017年4月に入社対象の採用選考活動を実施した企業に対して行った調
査結果の比較を行いました。その中に「選考にあたって特に重視した点」という設問がありま
した。それは我々が行ったアンケートと類似したものでした。1位、2位は順序は違いますが同じ結
果になりました。しかし3番目に求める要素に関しては子育て世代が忍耐力であったのに対し
て、企業側は協調性を選択しており、企業としては多くの人の中で活躍できる人材をより求めて
いる結果となりました。

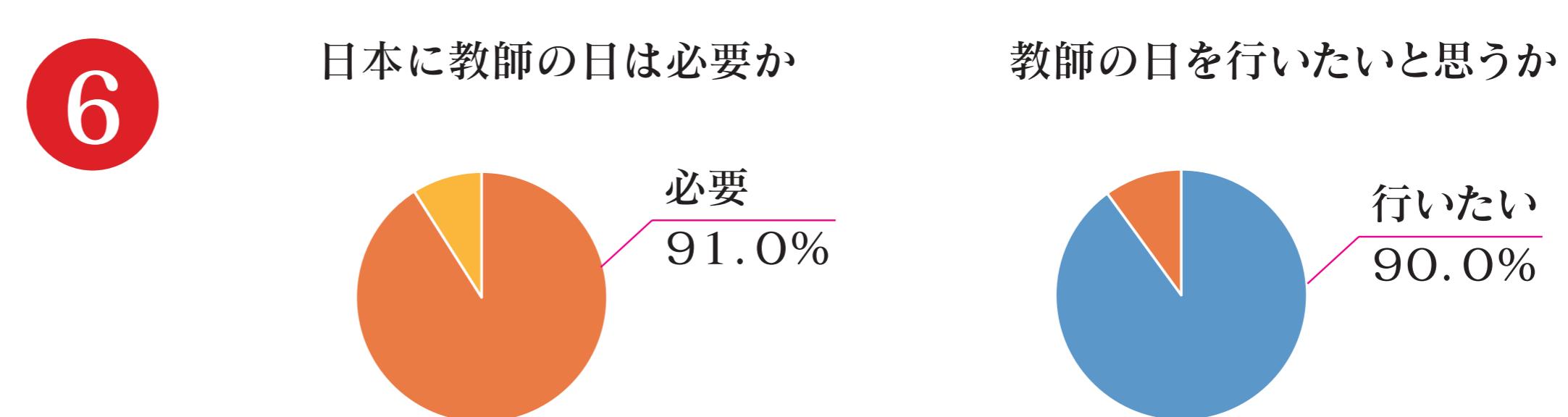


子供を地域やNPOにさんかさせていると回答したのは25.7%となり、74.3%近くが子供を
参加させっていないという結果になりました。その理由としてあげられているのがNPO等の情報
がないが56.3%と、半数以上が情報の少なさを参加させない要因としています。また習い事や
預けに行く時間ががないなどの選択肢も20%程度選択されました。

[引用]
2017年度 新卒採用に関するアンケート調査結果 一般社団法人 日本経済団体連合会
2017年11月27日 <http://www.keidanren.or.jp/policy/2017/096.pdf>



アンケートでは教師の職責を理解できたかの問い合わせに94%が理解できたと回答。また参加者の
96%が「先生に感謝する日があつた方がいい」と回答。また、児童98名に先生への感謝につい
て考えてもらい、ありがとうカードを作成してもらった結果、当小学校限定の先生28名に向けられ
た感謝と147枚のありがとうカードが届けられ、児童にとって先生への感謝は、今の先生だけ
ではなく過去をさかのぼり記憶に残る先生への感謝が常に宿っていることが分かりました。



地域や保護者からの立場で改善できることは何かの問い合わせでは「地域・保護者・学校とのコミュニ
ティや連携強化」「教師への理解」「感謝の心」の回答が多く参加者の教育責務の意識が向上しま
した。教師の日に行う内容紹介と事業報告を行いアンケートでは「日本でも教師の日が必要」
91%「教師の日を行いたい」90%と高い数値を示した。また教師の日を行いたい方の連絡先を
募集した結果、板橋区内7件、区外3件の募集があった。